

委員会視察成果報告書

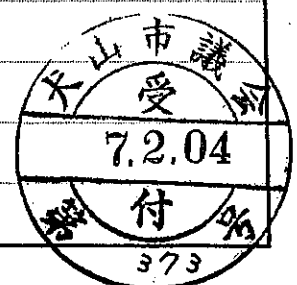
犬山市議会議長

令和7年2月4日

議員名 久世尚裕

下記のとおり、視察の成果を報告いたします。

(1) 視察年月日	令和7年1月22日() ~ 年 月 日() (泊 日)
(2) 視 察 地	敦賀市(福井県)
(3) 視察の種類	常任・特別委員会(民生文化委員会)
(4) 視 察 成 果 (視察地ごとに記入)	別紙
(5) 犬山市に 対する提言	別紙



令和 7 年 2 月 3 日

久世 高裕

視察先：福井県敦賀市

視察テーマ：部活動の地域移行について（文化部）

視察日：令和 7 年 1 月 22 日

視察内容：

概要

（1）部活動地域移行の背景

- ・ 少子化や教員の負担軽減のため、部活動を地域クラブへ移行する必要がある。
- ・ 国の方針に沿って、令和 5 年度から段階的に週末の部活動を地域クラブへ移行。
- ・ 令和 8 年度には、週末の部活動を完全に地域クラブへ移行する計画。

（2）吹奏楽部の地域移行

・ 敦賀市の特徴

- ・ 市民吹奏楽団が長年活動しており、地域資源を活用しやすい環境がある。
- ・ 令和 3 年から国のモデル事業として「市民ジュニア吹奏楽団」を立ち上げ、先行実施。

・ 活動内容

- ・ 活動日：第 2 ・ 第 4 土曜日（3 時間）
- ・ 場所：
 - ・ 第 2 土曜日→角鹿小中学校のホール
 - ・ 第 4 土曜日→市内 4 つの中学校を巡回して活動

・ 指導者：

- ・ 学校の教員 1 名（兼職兼業）
- ・ 市民吹奏楽団のメンバー数名
- ・ 県内・近県の演奏経験者（パート練習担当）

・ 参加状況

- ・ 市内の吹奏楽部員 138 名のうち 76 名（55%）が参加。

要点

（1）保護者負担

- ・ 現在の月額費用は 2000 円。活動回数が増えると 3000 円程度になる見込み。
- ・ 文科省の助成金終了後の負担軽減策が課題。
- ・ 送迎負担が大きく、大型楽器の運搬が難しい。
- ・ 自治体予算による補助の可能性を検討する必要がある。

（2）活動場所の確保

- ・ 現在は学校施設を利用しているが、教員の負担軽減が進まない。

・ **課題：**

- ・ 鍵の管理や楽器の搬入・搬出に教員が関与せざるを得ない。
- ・ 各学校の設備に依存しており、一部の学校では活動しにくい。

・ **対策案：**

- ・ 廃校や未利用施設を専用の拠点として活用。
- ・ 楽器を保管できる固定拠点を設置し、運搬負担を軽減。

(3) 地域移行の仕組み

- ・ 教育委員会だけでなく、生涯学習課など他部門と連携する必要がある。
- ・ 部活動と地域クラブの役割を明確化し、支援体制を整備。

(4) 指導者の確保

- ・ 現状、教員が兼職で指導しているが、継続的な確保が課題。
- ・ 若手指導者の育成や、地域・大学との連携による人材確保が必要。

(5) 吹奏楽団の参加率

- ・ 吹奏楽部員の 55%が参加しているが、残り 45%は参加していない。
- ・ 参加しない理由の分析が必要。
- ・ 費用負担や移動が原因の一部。自由参加型の仕組みを検討する案も。

(6) スケジュール調整

- ・ 各学校の行事やテスト時期が異なり、地域クラブ活動との調整が難しい。
- ・ カレンダー統一や柔軟な運営が求められる。

犬山市への提言

非常にいい視察になった。先日の舞鶴市と同じく、先進地にはやはりキーマンがいる。敦賀市では中学校の校長先生（地域移行を始めた時は教頭）。活動を学校から切り離すことに目先が行きがちだが、今年度の舞鶴市、八尾市の取り組みを見ても、学校が主体的に調整をしていかなければ、おそらく活動自体が急激に縮小していくことになる。犬山市におけるキーマンは誰か。それを決めることが最も重要と考える。